

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：血液内科基礎プログラム

病院名： 北海道がんセンター

2. 診療科：血液内科

3. コースの概要

留学期間中、血液内科にて造血器腫瘍を中心としたさまざまな血液疾患の症例を経験し、血液内科領域の基礎的知識や検査手技、治療法を習得する。

4. 目標

血液疾患の診断に必要な基礎的知識，検査法，また化学療法、造血幹細胞移植を中心とした治療法の基本を修得することを目標とする。造血器腫瘍では全身性に症状がみられることも多いため、広く内科全般に渡る基礎的臨床力の取得もできることを目標とする。血液内科学の専門知識と幅広い臨床能力を取得し、内科医としての全人的な育成を行う。また、内科診療における問題点を発見、解決する能力を身につける。

5. 取得手技

血液疾患の的確な診断をするための手順および各疾患の活動性，重症度の基礎的判断力が修得できる。骨髄穿刺・生検、輸血、腰椎穿刺などの基本的主義に加え、造血幹細胞採取・保存・輸注、中心静脈確保、人工呼吸器管理などの手技を習得できる機会がある。

6. 研修期間：6 ヶ月

7. 募集人数：1 名

8. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
悪性リンパ腫	140
多発性骨髄腫	50
急性白血病	15
骨髄異形成症候群	15
造血幹細胞移植	15

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 4 名

主として研修指導にあたる責任医師 藤本勝也（経験年数 29年）

10. コンセプト

当科で取り扱う主な血液疾患は悪性リンパ腫、急性白血病、慢性白血病、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、再生不良性貧血、特発性血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、播種性血管内凝固症候群、凝固異常症などである。これらの血液疾患の診療に必要な基礎的知識および技能を修得する。造血器腫瘍では全身性に症状がみられることも多く、治療に伴う副作用のマネージメントを含め、幅広い内科的知識を要求されるので視野の広い診療を目指す姿勢を身につける。

11. その他（研修関連情報など）

臨床カンファレンス（週一回）